

科目名	神経障害理学療法学特論	担当教員	伊藤俊輔 小川峻一 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	2単位	講義

科目概要	「神経障害理学療法学」、「神経障害理学療法学演習」、「神経障害理学療法学実習」で学習した脳卒中や脊髄損傷を中心とした中枢神経疾患に関する知識をもとに、中枢神経障害における具体的な場面を想定した課題について、問題解決型学習を中心に実践する。課題の中から解剖学的・症候学的視点から治療アプローチの関連性について理解を深め、臨床的思考能力を養う。また、グループワーク形式を用いて、コミュニケーション能力や問題解決能力の向上を目的とする。
学習目標	中枢疾患に関わる理学療法士として臨床現場で働くだけでなく、地域社会に貢献するために必要な専門知識と問題解決能力を身につける。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	脳卒中1	脳卒中の病態	脳卒中の病態を理解できる。	
2	脳卒中2	脳卒中の理学療法評価	脳卒中の適切な理学療法評価を理解する。	
3	脳卒中3	脳卒中の治療1	脳卒中の適切な理学療法治療を理解する。	
4	脳卒中4	脳卒中の治療2	脳卒中の適切な理学療法治療を理解する。	
5	神経筋疾患1	神経筋疾患の病態	神経筋疾患の病態を理解できる。	
6	神経筋疾患2	神経筋疾患の理学療法評価	神経筋疾患の適切な理学療法評価を理解する。	
7	神経筋疾患3	神経筋疾患の治療1	神経筋疾患の適切な理学療法治療を理解する。	
8	神経筋疾患4	神経筋疾患の治療2	神経筋疾患の適切な理学療法治療を理解する。	
9	脊髄損傷1	脊髄損傷の病態	脊髄損傷の病態を理解できる。	
10	脊髄損傷2	脊髄損傷の理学療法評価	脊髄損傷の適切な理学療法評価を理解する。	
11	脊髄損傷3	脊髄損傷の治療1	脊髄損傷の適切な理学療法治療を理解する。	
12	脊髄損傷4	脊髄損傷の治療2	脊髄損傷の適切な理学療法治療を理解する。	
13	小児疾患1	小児疾患の病態	小児疾患の病態を理解できる。	
14	小児疾患2	小児疾患の理学療法評価	小児疾患の適切な理学療法評価を理解する。	
15	小児疾患3	小児疾患の治療	小児疾患の適切な理学療法治療を理解する。	

評価方法	筆記試験（80%）、平常点（20%）
教科図書	なし
参考図書	病気がみえる vol.7 脳・神経（メディックメディア） ビジュアル実践リハ 脳・神経系リハビリテーション -カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ- 脳卒中最前線（医歯薬出版） 神経障害理学療法学 I・II 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト（中山書店） 理学療法評価学 I・II 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト（中山書店） 小児理学療法学テキスト（南江堂） 脊髄損傷理学療法マニュアル（文光堂）
学習の準備	神経障害理学療法学，神経障害理学療法学演習，神経障害理学療法学実習の内容を復習しておくこと
オフィスアワー	在室時はいつでも可能
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	